

長崎税関における

「とうもろこし（飼料用）」の輸入について

- ・2022年は 長崎税関管内の全国シェア 第1位（数量・金額）
- ・2022年は 過去最高額（全国・長崎税関管内）
- ・鹿児島県は 14年連続、全国シェア 第1位（数量・金額）

1. はじめに

2022年は記録的な値上げの年となりましたが、今年もしばらくは値上げの動きが続くとみられています。世界的需要の高まりによる資源価格の上昇に加え、ウクライナ情勢に伴う穀物などの高騰、更には円安による輸入コストの増加の影響もあっていわれています。原油相場などはひと頃よりも下がっていますが、まだまだ先が見通せない状況にあります。

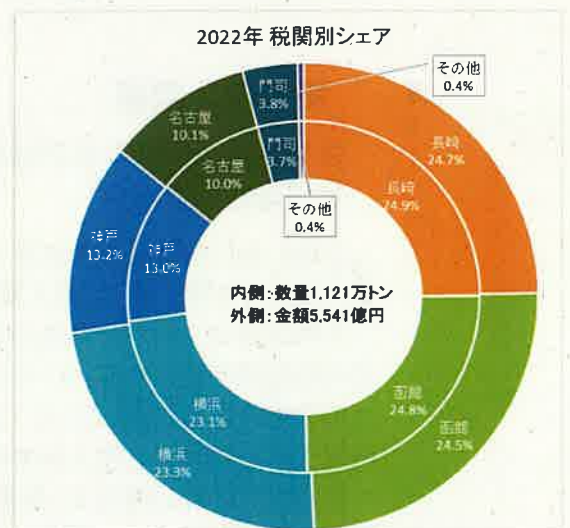
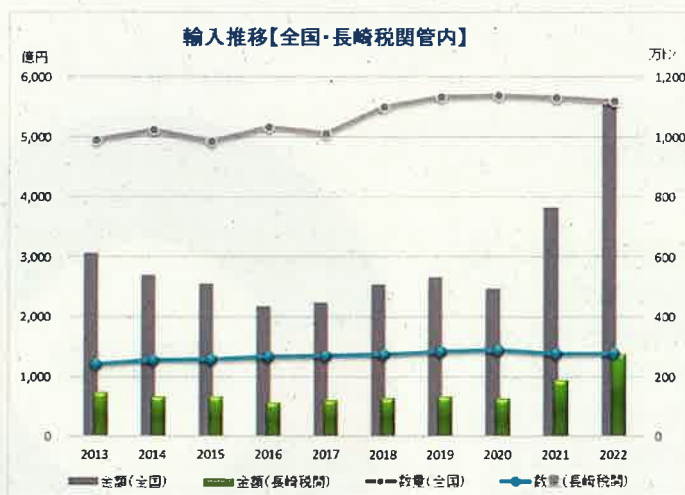
このような中、当関の主要輸入品である「とうもろこし（飼料用）」は、家畜のエサとなる配合飼料の主原料となりますが、その殆どを海外からの輸入に依存しており、価格高騰の影響も考えられることから、今回取り上げてみました。

2. 輸入動向

2022年の全国における「とうもろこし（飼料用）」の輸入実績は、数量1,121万トン（対前年比1.0%減）、金額は5,540億98百万円（同44.7%増）で、輸入額は過去最高でした。

一方、長崎税関管内は、数量279万トン（同0.5%増、全国シェア24.9%）、金額1,371億36百万円（同45.7%増、全国シェア24.7%）で、数量・金額とも全国シェア第1位、輸入額は過去最高でした。

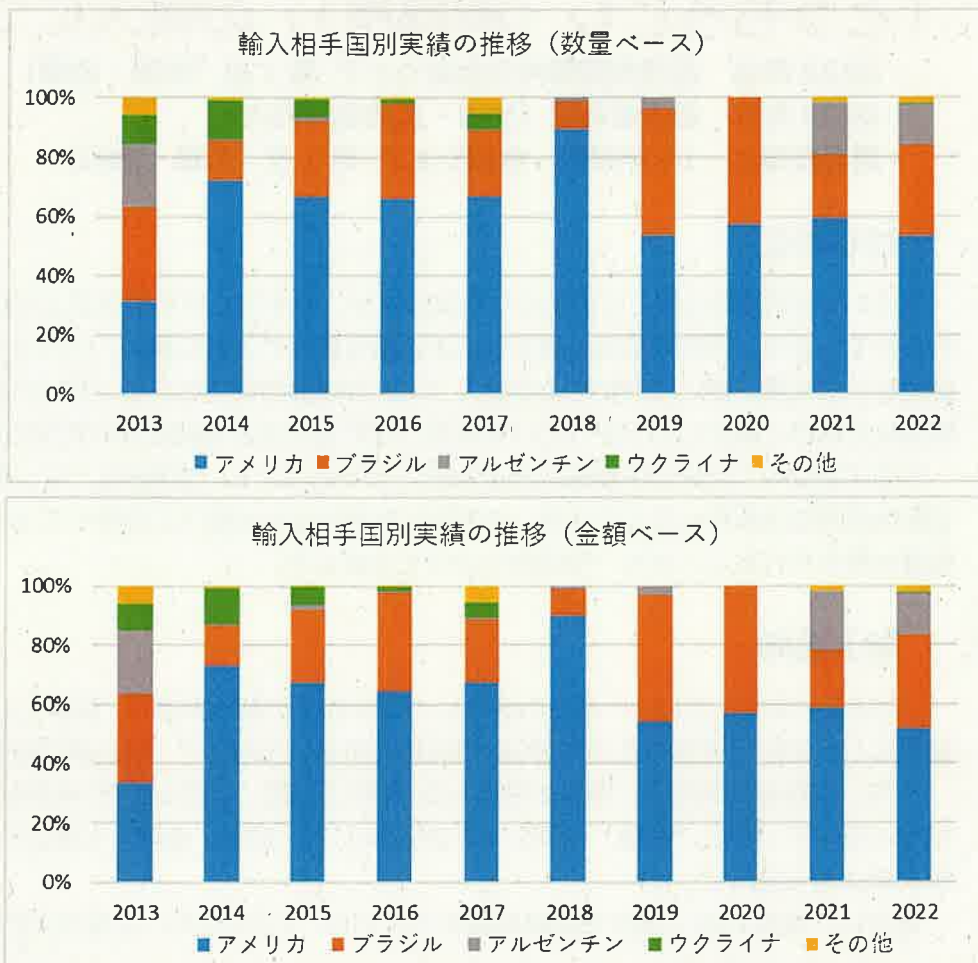
因みに、過去10年における長崎税関のシェアは、1位が6回、2位が4回でした。



- ・本特集における「とうもろこし（飼料用）」とは、統計品目番号 1005.90-010〔播種用以外のその他のもの-飼料用のもの（税関の監督の下で飼料の原料として使用するものに限る。）〕を集計したものです。
- ・本特集における「過去最高」とは、比較可能な1988年以降の実績です。
- ・鹿児島県の実績は、鹿児島税関支署、鹿児島空港出張所、志布志出張所、川内出張所及び枕崎出張所が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ・2021年までは確定値。2022年は確々報値。

3. 長崎税関管内における相手国別輸入動向

長崎税関管内における「とうもろこし（飼料用）」について、過去10年の輸入相手国別の推移を見ますと、年によりバラツキはあるものの、アメリカとブラジルの2カ国で概ね8割以上を占めており、相手国に偏りがあることが分かります。



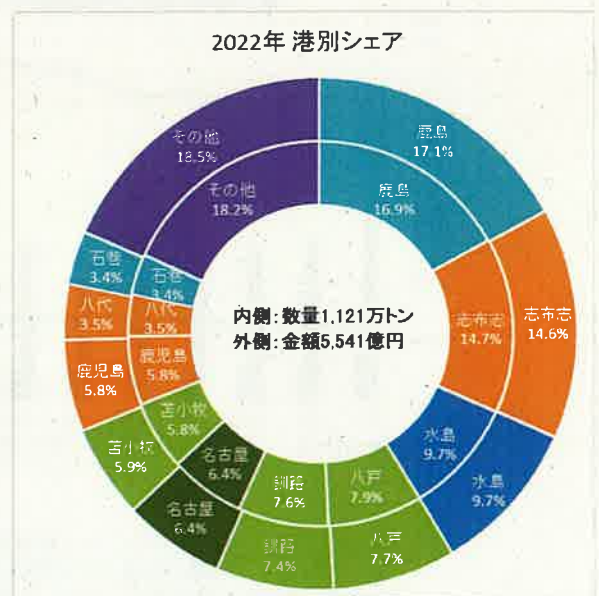
4. 港別輸入実績

志布志港の全国シェアは全国2位、輸入額は過去最高

2022年における志布志港の全国シェアは、数量・金額とも第2位で、輸入額は過去最高でした。

志布志港は、南九州地域の国際物流拠点港として中核国際港湾に位置付けられますが、国際バルク戦略港湾^{注1}にも選定されており、穀物の大型船輸送による効率的な輸入の実現が期待されます。

志布志港以外の順位は、数量・金額とも同じで、1位 鹿島港、3位 水島港となっており、管内では、8位に鹿児島港、9位に八代港が入っています。



注1 国際バルク戦略港湾政策…拠点となる港湾を指定し、効率的な海上輸送ネットワークを構築することで、各港湾単独での中型船による海上輸送（非効率）から、企業間連携による大型船を活用した一括大量輸送（効率的）への転換を促進。

5. 県別輸入実績

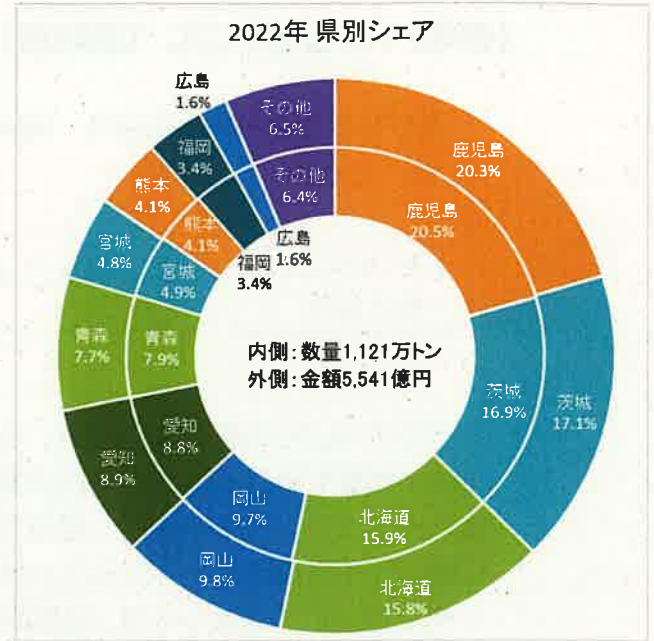
鹿児島県は 14 年連続
全国シェア第 1 位（数量・金額）！

2022 年における県別輸入実績は、数量・金額とも、鹿児島県が第 1 位で、輸入額は、過去最高でした。

以下、茨城県、北海道と続いています。

全国シェアの上位を見ると、畜産主産地から比較的近く、原料受入港が整備され、配合飼料工場が立地する県が多くを占めたものと思われます。

過去について調べると、鹿児島県は 2009 年以降、14 年連続で数量・金額とも全国シェア第 1 位でした。



過去 10 年の県別輸入順位（数量・金額とも同じ）

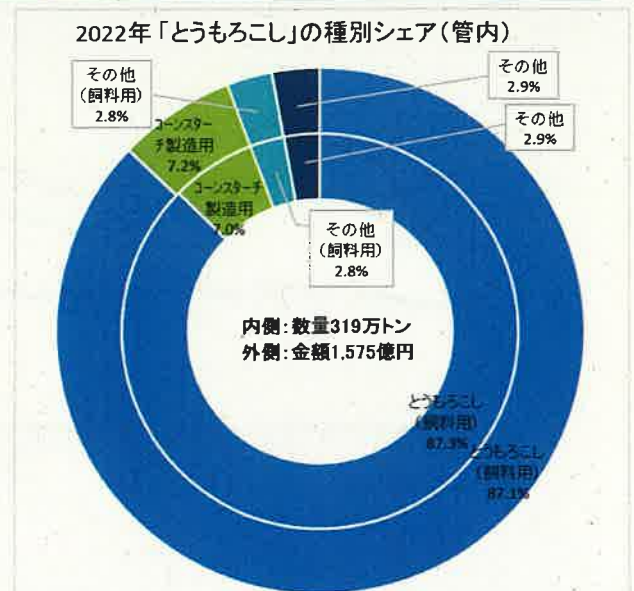
順位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島
2	茨城	茨城	茨城	北海道	北海道	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城
3	北海道	北海道	北海道	茨城	茨城	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道
4	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山
5	青森	青森	青森	青森	青森	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知
6	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	青森	青森	青森	青森	青森
7	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城
8	福岡	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本
9	熊本	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡
10	兵庫	兵庫	広島	広島	広島	広島	広島	広島	広島	広島

6. 長崎税関管内における「とうもろこし」の種別シェア

2022 年の「とうもろこし」全体の輸入の内、「とうもろこし（飼料用）」が約 9 割を占めました。

続いて、「コーンスターチ製造用」、「その他（飼料用）」の順となっています。

「とうもろこし（飼料用）」は、関税定率法に基づく承認工場の下、一定の規格の配合飼料原料に使用されるもので、「その他（飼料用）」は、関税割当制度による自家製配合飼料用等であり、一定の関税割当数量内に限り無税が適用されるものです。



(参考)「とうもろこし(飼料用)」の輸入コストについて

とうもろこしの輸入価格は、簡単に示すと次の構成要素からなります。

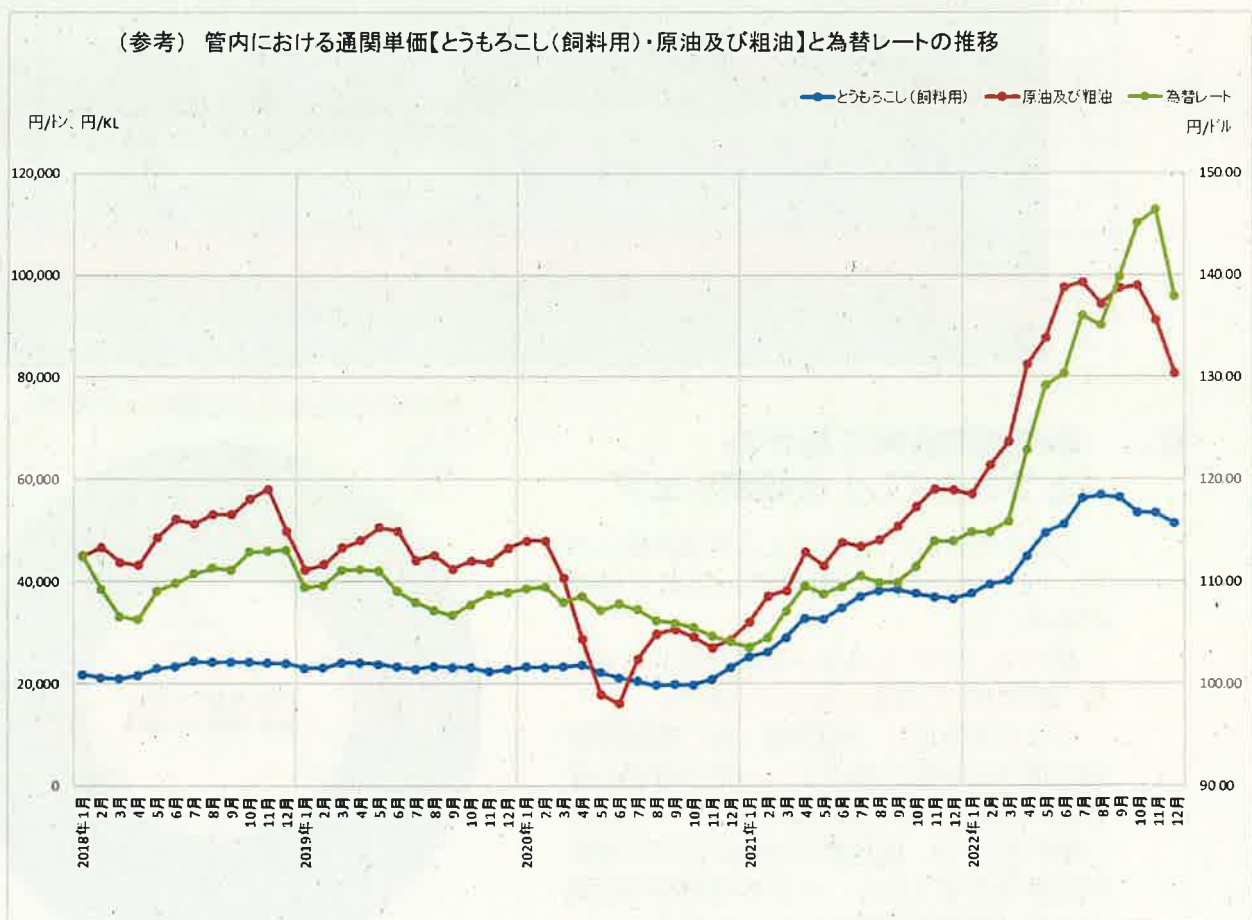
$$\boxed{\text{とうもろこしの輸入価格}} = \boxed{\text{とうもろこしの価格}} + \boxed{\text{運賃(輸出国内輸送費及び海上輸送費)}} + \boxed{\text{保険料}}$$

とうもろこしの国際価格には、シカゴ穀物取引所での取引価格があり、生産地の天候の影響を受けるほか、各国の需給バランスや国際的な在庫状況、原油高騰によるバイオエタノール需要増、最近では肥料価格の高騰による生産作物の変更等様々な要因が価格に影響を与えることが考えられます。

海上運賃につきましては、国際的な船腹需要や原油の価格変動などが影響します。

また、日本における輸入価格は、ドル建て決済の場合、公示レートにより円換算されるため、為替レートも無視できません。

そこで、長崎税関管内における、過去5年間のとうもろこし(飼料用)の通関単価、原油価格の通関単価及び税関長公示レートの推移を示します。



◎「とうもろこし」と「スイートコーン」は別物！？

日本標準商品分類（平成2年6月改定版・総務省）によれば、「とうもろこし（未成熟を除く。）」は雑穀、いわゆる穀物に分類され、「スイートコーン」は、野菜の中の果菜類に分類されています。

また、輸入統計品目表におきましても、「とうもろこし」は穀物（10類）、スイートコーンは野菜（7類）に分かれて分類されています。

「とうもろこし」は、米、小麦と共に世界3大穀物にも数えられており、世界で最も生産されている穀物になります。

穀物とは、子実を収穫するために栽培される一年生または二年生草本作物、およびその子実の総称とされ、澱粉質を主体とする種子を食用にするものとされています。

熟した「とうもろこし」の実を割ると、白い粉が出てきますが、これが澱粉になります。

デントコーンやフリントコーン、ポップコーンに使われる爆裂種等の品種は、穀物に分類されます。

一方、「スイートコーン」は、とうもろこし（未成熟）になりますが、とうもろこし的一种であることに変わりなく、甘味種全般を指した呼び名となっています。皮がやわらかく食べやすい特徴があり、糖質が澱粉にならずそのまま蓄積されるため甘みが強くなっています。

7. おわりに

穀物価格の上昇等によって配合飼料価格が上昇しており、畜産経営を圧迫しているそうです。対策として配合飼料価格安定制度がありますが、補填が十分でないため配合飼料価格高騰緊急特別対策事業が実施されているとのこと。配合飼料価格安定制度は激変緩和措置であるため、価格が高止まりするとその効果は減少してしまうことから、畜産物への価格転嫁の重要性を訴える声が上がっているそうです。

食料安全保障への懸念が高まる中、飼料を含む穀物の安定供給は益々重要となっており、引続き輸入動向に注目していく必要があります。

（資料）：農林水産省資料、各種報道等による

～～～ 本資料についてのお問い合わせ ～～～

長崎税関 調査部 調査統計課 ☎095-828-8659(直通)
〒850-0862 長崎市出島町1番36号
長崎税関ホームページ <http://www.customs.go.jp/nagasaki/>

※本資料を他に転載するときには、長崎税関の資料による旨を必ず注記して下さい。